信州の子育て応援パンフレット

もっと子どもの話をしませんか。

みんなで支える 篇

地域の助け合いにより子育てができる
「子育て安心県 ながの」をめざして。

長野県　ながの子ども・子育て応援県民会議

「子育て支援」から「子育ち支援」へ。子どもがちゃんと育つ地域社会をめざしたい。

清泉女学院短期大学 副学長　西山 薫さん

一般的に「子育て支援」は、子どもを育てる親や家庭への支援をいいます。保育所が足りない、子育て家庭に経済的支援を行う、親の悩みごとを受けとめてほしい……これらはみな子どもを育てる親を社会的に支えることです。しかし、子育て家庭への支援には、親への支援だけでなく、地域全体で子どもが育っていく環境をつくったり、子どもの成長に地域が直接関わるなど「子育ち支援」をふくめた考え方が大切です。

親の子育て支援と同時に、子どもがちゃんと育つ社会もつくる。この両方をやっていくことがとても重要ではないかと思います。

残念ながら、いま、地域の子育て力はとても弱くなっています。学力には非常に関心があっても、子どもの生活基盤となるような行動には無関心な大人が多い。たとえば、リンゴの皮をむくとか、親のお手伝いをするとか、日常生活のなかで果たしてきた子どもの体験がずいぶん欠落して、子どもの生活がいびつな形になっています。

子ども時代に外で群れて遊ぶようなこともなくなりましたが、私はこれも学力低下現象の一因と考えています。大勢の中での喧嘩やもめごと、挫折、喜びなどさまざまな体験を通して、がまんすることや、やさしさを覚えていくのです。自然体験のなかで昆虫や草木、魚などへの好奇心も芽生えていくでしょう。それらすべてが学びの基礎力なのです。

しかし、親世代に体験をさせようと言っても簡単にはいきません。そこでシニア世代や、地域のボランティアやNPOのみなさんが親といっしょになって、楽しみながら子どもと関わっていくことが大事です。親の姿勢も変わってほしい。わが子だけをカメラに収めるのでなく、ちょっとフレームを広げて、よその子も一緒に見てほしいのです。

みんなが少しずつ地域や社会、自然に開かれた子育てになっていったら、もっと力のある「子育ち」社会になると思います。

西山薫
ながの子ども・子育て応援県民会議 第一部会 部会長
清泉女学院短期大学 教授(副学長)

Profile
新潟県上越市生まれ。
筑波大学第二学群人間学類教育学主専攻を卒業後、同大学の博士課程に進む。
保育者養成に携わるとともに、長野県では、幼児教育連絡会議委員長、
少子化問題を考える懇談会会長、男女共同参画審議会会長などをつとめる。

あなたの街の子育て応援

長野県内では、様々な主体による「子育て・子育ち支援」の取組が行われています。「みんなで支える子育て安心県 ながの」をめざして、県内各地で行われている、支え合いによる子育て・子育ちをご紹介します。

商店街による子育て支援

岩村田本町商店街振興組合

岩村田本町商店街振興組合では平成19年より、商店街の協賛店舗と地域の子育て世帯からなる会員制度「子育て村」を運営しています。
18歳未満の子どもを持つ家庭は無料で「子育て村」に入会でき、会員は商店街の加盟店で様々な割引サービスが受けることができるほか、協賛店舗の店主や地元の方を講師とする数多くのイベントに優先的に参加できる仕組み。
また、会員からのアンケートを事業運営に反映させるシステムを構築し、その結果、商店街が運営する小中学生のための学習塾「岩村田寺子屋塾」や、子どもの一時預かりのできる「子育てサロン『子育てお助け村』」の開設・運営を行っています。
その他にも、防犯カメラの設置、「子ども見守りサービス」など、商店街全体で地域の子育てを支えている各種事業を行っています。

岩村田寺子屋塾

平成21年より、商店街の空き店舗を利用し、年長者が年下を世話する昔の寺子屋ならではの雰囲気を大切にした学習指導塾「岩村田寺子屋塾」を開設。
地元小学校の通学途中にあって、学校帰りに気軽に立ち寄れる環境を提供しています。また、「パパママ入門講座」「大人の脳トレ講座」など、大人向けの各種講座も開催しており、「商店街の多世代交流の学びの拠点」として、商店街の活性化に一役買っています。

子育てお助け村

子育て村会員からの要望を受け、商店街の空き店舗を利用した子育てサロン「子育てお助け村」を開設。
小さなお子さんを持つ保護者が気軽に立ち寄り、休憩したり、授乳したり、おむつ交換をしたりと、井戸端会議の場を無料で提供しています。また、商店街での買い物や美容院の間に利用できる短時間保育や子育て相談など、子育てに悩む若年層の母親にとっての駆け込み寺のような施設として利用者が絶えません。

NPOによる子育て・子育ち支援

NPO法人 すわ子ども文化ステーション

すわ子ども文化ステーションは、諏訪市及び周辺地域において、様々な子ども支援・子育て支援事業を行いながら、支え合い、助け合い、つながり合える地域社会の実現をめざして活動を行っています。
子どもたちによるミュージカル「表現活動ワークショップフィールド」や、体験を通じて親子がともに育ち合う場「子育て あ・ら・か・る・と」、子どもたちの生の声に耳を傾ける「チャイルドラインすわ」、緊急サポート・保育サポートの一時預かり事業「すわ子育て支援ネットワーク"ぷりん"」など、活動は多岐にわたっています。
活動を通じて、子どもたちが本来持つ多くの可能性や能力を引き出すお手伝いをするとともに、諏訪エリアの子育てママの心のよりどころにもなっています。

「子育て あ・ら・か・る・と」
自然体験から学ぶネイチャーフィールド

すわ子育て支援ネットワーク"ぷりん"

「すわ子育て支援ネットワーク"ぷりん"」は、子どもたちが元気に、心豊かに育つ社会環境をめざして、会員同士がアイデアを出し合いながら、子育て中のお父さん・お母さんをサポートする取組。
保育サポート・緊急サポートなど、子どもを預けたい保護者（おねがい会員）と預かる人（まかせて会員）をコーディネーターがつなぎ、通常の託児だけでなく、急な残業などにも可能な限り対応しているのが特徴。
登録会員数は年々増加し、諏訪エリアでの支え合いの輪が徐々に広がっています。

チャイルドラインすわ

すわ子ども文化ステーションでは2005年より、「子ども専用電話『チャイルドライン』」の運営を行っています。
毎年5000件を超える着信があり、「友人がいじめにあっている」「今日、こんな楽しいことがあった」など、日々子どもたちの生の声に耳を傾けています。一緒に悩み、考えることで「子どもたちの本来持つ、問題を解決する力」を引き出すお手伝いをしています。

18歳までの子どもがかける電話「チャイルドライン」
対象／18歳までの子ども
開設時間／月～土 16：00～21：00
電話番号／フリーダイヤル 0120・99・7777
※「受け手」養成講座も随時開催中 （「受け手」…電話を受けるボランティアさん）

行政・子育て支援団体・企業の連携

上田市子育て家族応援事業実行委員会

上田市では、子育て家庭を応援するとともに、「地域社会が一体となった子育て支援」につなげるために、子育て支援団体や地元企業などによる実行委員会を組織しています。会ではそれぞれの立場での得意分野を生かしながら、協働して子育て中の家庭を応援する事業を推進中。
「子育て応援事業」として親子で参加し体を動かして遊ぶ「ふぁみりーちゃれんじらんど」、「わんぱくパーク」などを開催し、スポーツやレクリエーションを通じた親子のふれあいの機会の提供や、地域の子育てへの関心を高める様々な活動を行っています。

わくわくファミリーフェスタ

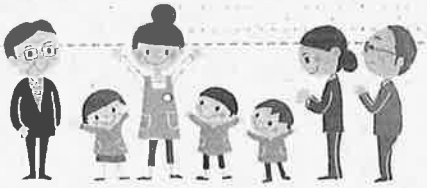
実行委員会では、毎年子育て支援イベント「わくわくファミリーフェスタ」を開催しています。
市内の子育てサークルや団体、地元の大学や短大の協力による親子が一緒に楽しめる遊びやミニコンサート、読み聞かせ、助産師による相談会、子育て情報の提供など、内容は盛りだくさん。
1,000人を超える親子連れでにぎわう年もあり、子育て家庭同士の交流や各種団体間の情報交換の場としても市民から好評を得ています。

子育て講座の開催

妊婦向けの「産まれてくる赤ちゃんのために」、初めて保育園・幼稚園の選択をする親に違いを分かってもらうための「保育園幼稚園情報講座」などのほか、子育て支援に積極的な地元企業と連携し、ワーク・ライフ・バランス推進のための「企業向け出前講座」や「ステキなパパ講座」を開催。「ステキなパパ講座」は、「父親、それは地球で一番大切な仕事」をキャッチフレーズに、座学だけではなく、子どもと一緒に自然体験などを行うことにより父親が子育てに参加することの楽しさや大切さを学んでいます。

こんな取組も進んでいます

保育園・幼稚園を中心とした地域との連携・交流



県内各地の保育園や幼稚園では、通常の保育や教育に加えて、地区民生委員や専門機関との連携、園開放などにより効果的な子育て支援の取組を進めています。
「乳幼児健診に訪れない」「保育園に入所しない」「不登校になっている」など、様々な事情を抱える家庭について、地区民生委員、保育園、幼稚園、小中学校、専門機関など、子どもを支える機関が情報を共有しながら、定期的な家庭訪問、入園の勧誘など子どもと子育て家庭を見守り続ける活動を進めています。
また、地域のお年寄りなども気軽に立ち寄れる雰囲気を大切にした園開放を実施し、子育ての問題を一人で抱え込んでしまいがちなお父さんお母さんに地域の人たちや子育て中の仲間と触れ合ってもらうことで、少しでも子育ての負担が軽くなるよう取り組んでいます。

長野県では行政・子育て支援団体・企業・地域など、様々な主体による子育て・子育ち支援が行われています。
しかし、そのひとつひとつの取組が“点”ではなく、支え合い・つながり合うことで、大きな“面”となれば、
もっともっと子育てしやすい長野県になるはず。
子どもたちは未来を担う信州の宝。
すべての子どもと子育て家庭をみんなの力で応援することができる、
「子育て安心県 ながの」の実現をめざしていきましょう。

長野県　ながの子ども・子育て応援県民会議

お問い合わせ　長野県企画部企画課　TEL026-235-7018　FAX026-235-7471
http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kikaku/shoushika